

大腿骨近位部骨折および失神を主訴に救急外来を受診した患者における大動脈弁狭窄症に関する調査

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。このような研究は、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さまの一人ずつから直接同意を得るかわりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

1. 研究の対象

2016年4月より2021年3月までに札幌東徳洲会病院に救急搬送され、失神および大腿骨近位部骨折を主訴とした/する患者さまのうち、心臓超音波検査を実施した/する患者を対象としています。大動脈弁狭窄症の治療歴がある患者さまや、大動脈弁狭窄症合併の大腿骨近位部骨折のために当院紹介転院になった患者さまは除外いたします。

2. 研究目的・方法

本院に救急搬送され、失神および大腿骨近位部骨折を主訴とした/する患者さまを対象として、診療録よりデータを収集し、大動脈弁狭窄症の合併に関する実態を明らかにすることを目的としています。これにより大動脈弁狭窄症も含めた診断と診療が適切かつ迅速にでき、患者さまの予後の改善に貢献できる可能性があります。

研究実施期間は、院長承認後より2021年9月までを予定しています。

3. 情報の利用拒否

情報が当該研究に用いられることについて、患者さまもしくは患者さまのご家族等で患者さまの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、「5. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さまに不利益が生じることはありません。

4. 研究に用いる情報の種類

年齢、性別、既往歴、主訴、随伴症状、認知機能の程度、現病歴（転倒の記憶、胸痛の有無、呼吸困難の有無、過去の失神歴）、各種検査結果（血圧、脈拍、呼吸数、血液検査、生化学検査、血液ガス、心電図、X線写真、CT所見、心臓超音波検査）等

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

医療法人徳洲会 札幌東徳洲会病院 救急センター 神野 敦（研究責任者）

住所：札幌市東区北33条東14丁目3番1号 電話番号：011-722-1110

（2020年5月1日作成（第1.1版））